

第 1 節 港 湾

1 港湾の概要

本県には、重要港湾として秋田港、船川港、能代港の3港、地方港湾として本荘港、戸賀港の2港、計5つの港湾があり、県が港湾管理者として施設整備や管理運営を行っています。

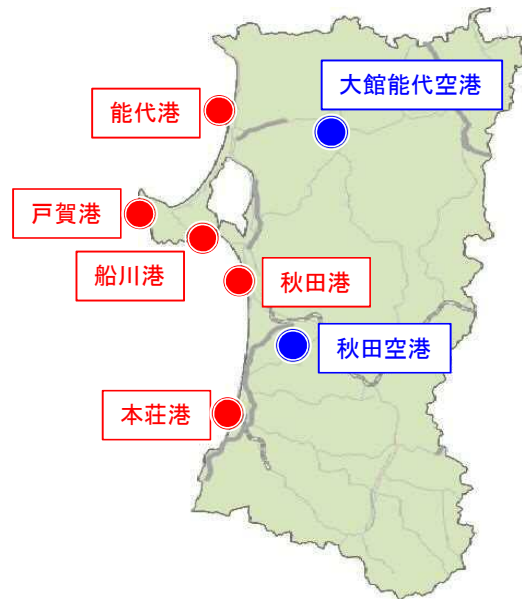
秋田港は、中国・韓国との外貿コンテナ航路、北海道・北陸との内航フェリー航路及び背後の道路網等により、秋田県の産業を支える重要な物流拠点のほか、クルーズ船受入による観光振興や、災害時の緊急物資輸送拠点としての役割も担っています。また、洋上風力発電の導入によるエネルギー拠点としての整備も進められています。

船川港は男鹿地域の物流港として、また、国家石油備蓄基地としての役割を担っています。

能代港は、大規模な火力発電所が立地するなど、県北部のエネルギー拠点として、また、リサイクルポート(総合静脈物流拠点港)としての役割を担っているほか、洋上風力発電の有望地域として期待されており、現在、洋上風力発電の導入に向けた整備が進められています。

地方港湾の本荘港及び戸賀港は、海洋性レクリエーション基地・観光振興基地として利用されています。

◆港湾・空港位置図



◆入港船舶及び海上出入貨物(平成31年速報値)

(単位:隻・総トン・トン)

	入港船舶		海上出入貨物(トン)		
	隻数	総トン数	合計	出貨	入貨
秋 田 港	2,564	15,168,909	7,117,771	2,047,480	5,070,291
船 川 港	385	471,657	405,223	244,431	160,792
能 代 港	417	2,859,545	4,839,710	385,867	4,453,843
本 荘 港	25	250	63	0	63
戸 賀 港	182	2,870	125	0	125
計	3,573	18,503,231	12,362,892	2,677,778	9,685,114

※フェリー分を含む。

◆入港船舶総トン数別比較(平成31年速報値)

	県 内 全 域			
	(秋田港・船川港・能代港・本荘港・戸賀港)			
	隻数	%	総トン数	%
10,000総トン以上	646	18.1%	14,419,936	77.9%
6,000総トン以上	169	4.7%	1,245,207	6.7%
3,000総トン以上	636	17.8%	2,002,408	10.8%
1,000総トン以上	179	5.0%	305,537	1.7%
500総トン以上	437	12.2%	254,828	1.4%
100総トン以上	752	21.0%	259,969	1.4%
5総トン以上	754	21.1%	15,346	0.1%
計	3,573	100.0%	18,503,231	100.0%

◆秋田港外貿コンテナ取扱個数

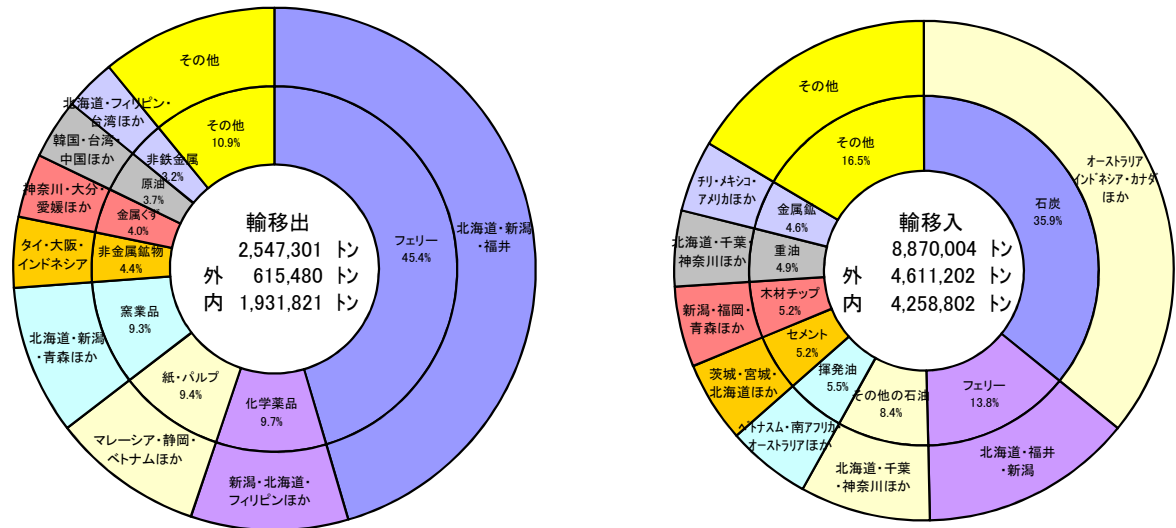
(平成7年11月定期航路開設)

	輸入	輸出	計
平成23年	31,417	28,400	59,817
平成24年	32,186	32,266	64,452
平成25年	34,774	36,361	71,135
平成26年	30,258	33,827	64,085
平成27年	27,541	31,618	59,159
平成28年	36,677	40,480	77,157
平成29年	34,323	38,336	72,659
平成30年	32,119	38,034	70,153
平成31年	38,691	32,315	71,006

※20フィートコンテナ換算(空コンテナを含む)。

※平成31年は速報値

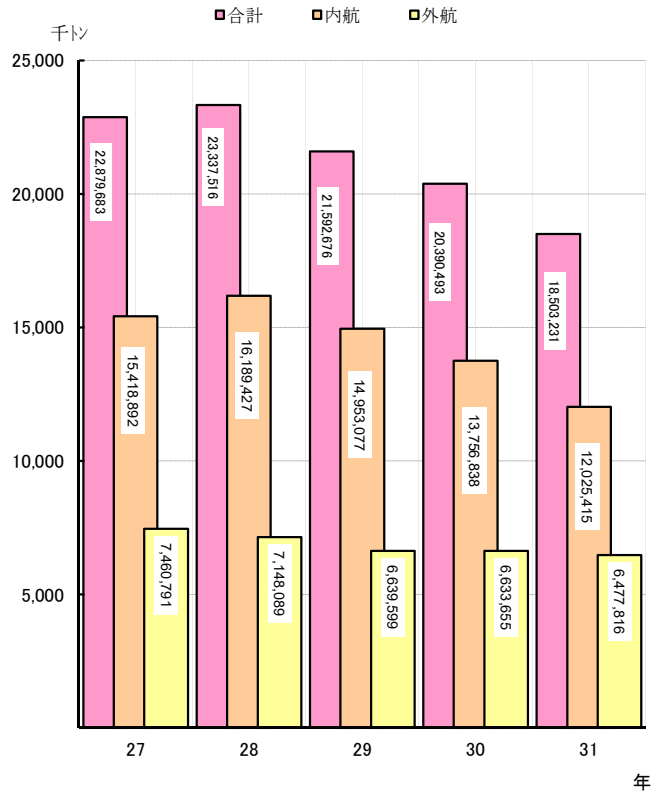
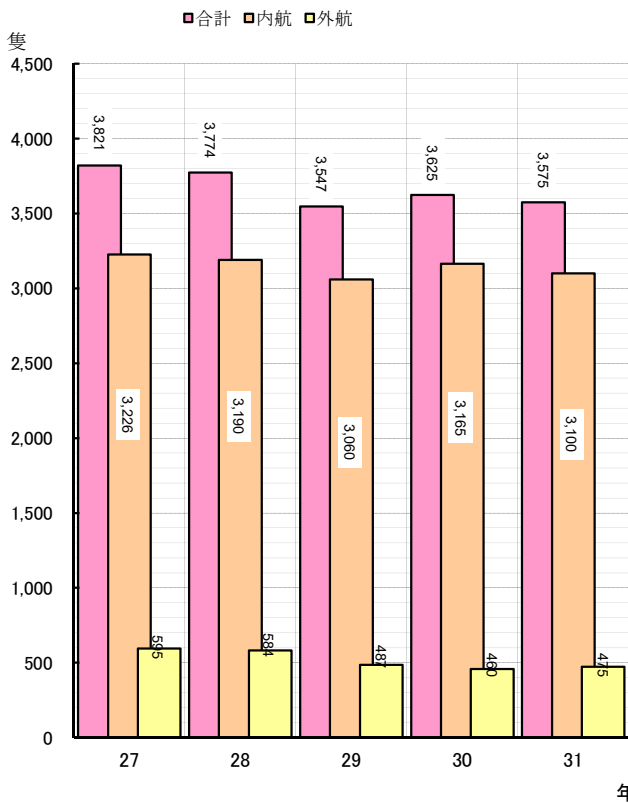
◆ 出入貨物別品種別比較(平成31年速報値)
県内全港



◆ 入港船舶の動き
県内全港

入港船舶隻数の推移

入港船舶総トン数の推移



2 各港の整備方針と事業計画

■秋田港

国際海上コンテナ取扱機能やフェリー輸送機能など、日本海側における物流拠点港としての機能の強化を図るに加え、近年寄港が増加しているクルーズ客船の受け入れ環境の整備を行います。

また、再生可能エネルギーの導入等、総合的なエネルギー供給基地を目指します。

[令和2年度主要事業]

洋上風力発電導入に向けた環境整備として岸壁の改良を行うほか、航行船舶の安全を確保するため、防波堤等の外郭施設の整備等を行います。また、港内浚渫土砂等の処分場整備を行います。



秋田港全景(令和元年9月撮影)

■船川港

想定される地震津波から地域住民の生命や財産を守るため、津波対策を推進します。また、港湾利用者の利便性向上を図るための施設管理、及び、施設の計画的な老朽化対策を推進します。

[令和2年度主要事業]

津波対策施設(漂流物防護柵)の設置を行うほか、係留施設の改良を実施します。



船川港全景(令和元年8月撮影)

■能代港

県北部地域の物流基地及び洋上風力発電の建設拠点としての機能強化、「秋田県北部エコタウン計画」と連携したリサイクルポートとしての機能確保のため、係留施設等の整備を推進します。

また、安定した電力の供給を支援するため、能代火力発電所で発生する石炭灰の埋立処分場を整備するほか、再生可能エネルギーの導入等、総合的なエネルギー供給基地を目指します。

[令和2年度主要事業]

洋上風力発電導入に向けた環境整備として岸壁の整備を推進するほか、ふ頭用地の造成に着手します。

また、航行船舶の安全を確保するため、外郭施設の改良及び、泊地の浚渫を進めるほか、埋立処分場の底面遮水工事等を実施します。



能代港全景(令和元年8月撮影)

■本荘港

港湾利用者の利便性向上を図るための施設管理、及び、施設の計画的な老朽化対策を推進します。

[令和2年度主要事業]

堆砂除去等の維持管理、臨港道路の除雪等を実施します。



本荘港全景(令和元年8月撮影)

■戸賀港

港湾利用者の利便性向上を図るための施設管理、及び、施設の計画的な老朽化対策を推進します。

[令和2年度主要事業]

施設維持管理、臨港道路の除雪等を実施します。



戸賀港全景(令和元年8月撮影)

3 環日本海クルーズ振興の推進

近年、全国的に高まりを見せるクルーズ需要を本県に取り込み、観光誘客の促進による地域の賑わいと経済の活性化を図るため、官民協働組織の「あきたクルーズ振興協議会」を核とした受入態勢を強化し、クルーズ振興を推進します。

[令和2年度主要事業]

知事によるトップセールスや環日本海クルーズ振興協議会等の広域組織と連携した誘致活動、海外船社等の寄港地決定キーパーソンの招聘、県内ファミツアーの実施等による寄港地PRを行います。

また、港での歓送迎行事として「大曲の花火」の打ち上げや、竿燈、なまはげ太鼓、小町娘、秋田犬の出迎え等を継続して行い、魅力ある寄港地として旅客満足度の向上を図ります。



アメリカでの誘致活動の様子



港での歓送迎行事の様子

第2節 空 港

1 秋田空港の概要

本空港は、県央部の秋田市雄和椿川に位置し、面積約160ha、長さ2,500mの滑走路と計器着陸装置(ILS)などを備えています。

昭和56年6月26日に開港し、就航路線は、東京、大阪、札幌及び名古屋の4路線であり、広域交通の拠点として定着しています。また空港周辺は、580haの広大な県立公園として整備され、緑豊かな都市公園型空港となっています。



秋田空港全景

◆空港施設の概要

設置者	国土交通大臣	場周道路	長／6,455m 巾／5.5m
管理者	秋田県知事	駐車場	69,449㎡(3,105台)
空港の名称	秋田空港	照明施設	進入灯・滑走路灯・誘導路灯・エプロン灯等
空港の位置	秋田市雄和椿川	無線施設	ILS(計器着陸装置)・VOR/DME (超短波全方向式無線標識/距離測定装置)
空港の標点	北緯39° 36' 56" 東経140° 13' 07"		
空港の標高	93.05m	通信施設	一式
空港の種別	特定地方管理空港	気象施設	一式(風向風速・雲高・視程計)
空港の総面積	1,589,656㎡	消防施設	40t水槽8基(化学消防車3台)
着陸帯	長／2,620m 巾／300m	防雪施設	除雪機械等一式
滑走路	長／2,500m 巾／60m	ターミナルビル	国内線棟3階建(10,995㎡)国際線棟(一部3階建3,620㎡)
誘導路	長／2,830m 巾／30~34m	貨物ビル	2棟
エプロン	長／310m 巾／190m(5バース)	給油施設	200kl/2基
排水施設	一式	燻蒸・焼却施設	一式

[令和2年度主要事業]

空港の機能維持のため、老朽化した滑走路の舗装改良や除雪車両の更新を行います。
航空機の円滑な運航を確保するため、「雪戦隊なまはげ」による除雪を行います。

2 大館能代空港の概要

本空港は、県北部の北秋田市脇神に位置し、面積は約120ha、長さ2,000mの滑走路と計器着陸装置(ILS)などを備えています。

平成10年7月18日に開港し、就航路線は、東京の1路線となっています。また、空港周辺には緩衝緑地帯を活用した「ふれあい緑地」が整備され、センターハウス、クロスカントリースキーコース、展望台等の施設を備えています。



大館能代空港全景

◆空港施設の概要

設置者	秋田県知事	場周道路	長／5,423m 巾／5.5m
管理者	秋田県知事	駐車場	13,510㎡(386台)
空港の名称	大館能代空港	照明施設	進入灯・滑走路灯・誘導路灯・エプロン灯等
空港の位置	北秋田市脇神	無線施設	ILS(計器着陸装置)・VOR/DME (超短波全方向式無線標識/距離測定装置)
空港の標点	北緯40° 11' 31" 東経140° 22' 18"		
空港の標高	84.0m	通信施設	一式
空港の種別	地方管理空港	気象施設	一式(風向風速・雲高・視程計等)
空港の総面積	1,214,240㎡	消防施設	40t水槽9基(化学消防車2台)
着陸帯	長／2,120m 巾／300m	防雪施設	除雪機械等一式
滑走路	長／2,000m 巾／45m	ターミナルビル	地上2階建一部3階建(4,062㎡)
誘導路	長／230m 巾／30m	貨物ビル	1棟
エプロン	長／225m 巾／110m(4バース)	給油施設	200kl/1基
排水施設	一式		

[令和2年度主要事業]

空港の機能維持のため、老朽化した進入灯台遠隔制御装置の改良や除雪車両の更新を行います。